

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

# 日本史 B

(100点)  
(60分)

## 注意事項

1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

2 この問題冊子は、39 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

3 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例1)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例1)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

また、「すべて選べ」や「二つ選べ」などの指示のある問いに対して、複数解答する場合は、同じ解答番号の解答欄に複数マークしなさい。例えば、

20
----

と表示のある問いに対して①、④と解答する場合は、次の(例2)のように解答番号20の解答欄の①、④にそれぞれマークしなさい。

(例2)

解答番号	解 答 欄
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

4 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

5 問題冊子は最後に回収します。監督者の指示に従って返却しなさい。





# 日本史 B

(解答番号  ~ )

**第1問** 以下は、18歳選挙権の話聞いた生徒たちが、中世までの日本における「会議」や「意思決定」の方法をテーマとして、資料を調査し、発表を行った学習活動の成果である。各班の発表資料を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A班 発表資料

平安時代における「会議」

資料 『小右記』など

## 1005(寛弘2)年4月に行われた会議の概要

左大臣の藤原道長、右大臣の藤原<sup>あきみつ</sup>顕光、……参議の藤原<sup>ゆきなり</sup>行成の合わせて10人の公卿が、内裏の陣座<sup>じんざ</sup>(注)に集まった。……資料を回覧したあと、地方から申請された件について、藤原行成から順番に意見を述べていった。全員が意見を述べ終わると、行成はその内容を<sup>さだめふみ</sup>定文という書類にまとめた。そこには、藤原道長ら2人が申請を却下せよとの意見、藤原顕光ら8人が申請を許可せよとの意見であると書かれていた。定文は天皇に奏上され、申請の可否が決められた。

(注) 陣座：公卿が会議する場

資料の分析

会議の参加者	議事の進め方	決定の方法
公卿が参加	I	II

**仮説** この時代では、一部の貴族など限られた人々が国の政治に参画していた。会議は、ルールに基づいて運営されていた。

問 1 A班の発表資料の表中Ⅰ・Ⅱに入る内容の組合せとして正しいものを、下の

①～④のうちから一つ選べ。

〔Ⅰ〕 a 地位の低い公卿から意見を述べた

b 最高位の公卿から意見を述べた

〔Ⅱ〕 c 藤原道長が最終決断を行った

d 天皇への参考意見を提供した

① Ⅰ－a Ⅱ－c

② Ⅰ－a Ⅱ－d

③ Ⅰ－b Ⅱ－c

④ Ⅰ－b Ⅱ－d

B班 発表資料

鎌倉時代における「会議」

資料 『御成敗式目』

およそ評定の間、<sup>りひ</sup>理非(注1)においては、親疎あるべからず、好悪あるべからず。ただ道理の推すところ、心中の存知(注2)、<sup>はばか</sup>傍輩(注3)を憚らず、<sup>ことば</sup>権門(注4)を恐れず、<sup>ことば</sup>詞を出す(注5)べきなり。

(注1) 理非：正しいことと正しくないこと

(注2) 心中の存知：心の中で思っていること (注3) 傍輩：仲間・同僚

(注4) 権門：権勢のある家柄 (注5) 詞を出す：発言する

**資料の分析** この資料によれば、会議での合意形成の原理・原則がはっきりと打ち出されている。

私たちは、資料の中の **ア** という部分が重要であると思った。  
なぜなら、 **イ** である。

**仮説** 武士の中でも限られた人々が、評定という形式で会議を開き、幕府の政治を行っていた。

問 2 B班の発表資料中の空欄  に入る言葉は I・II の二つが考えられる。

I・II の言葉と空欄  に入る理由 a～d の組合せとして正しいものを、  
下の ①～④ のうちから一つ選べ。

I 道理の推すところ                      II 権門を恐れず

- a 正しい判断を行うためには、武家社会の慣習に従うことが大切だから
- b 正しい判断を行うためには、多数決の原理に従う必要があるから
- c 正しい判断を行うためには、身分が上のものに遠慮しないことが必要だから
- d 正しい判断を行うためには、律令法の規定に従うことが大切だから

- ① I — a      II — c                      ② I — a      II — d
- ③ I — b      II — c                      ④ I — b      II — d

室町時代の惣村

惣村

寄合(惣村の自治的協議機関)

大事なことは全員参加による審議で判断

乙名・年寄・沙汰人(指導者層)

惣百姓(一般構成員)

協議されたこと

資料 『今堀日吉神社文書』

定 条々事

- 一 寄合ふれ二度に出でざる人は、五十文<sup>とが</sup>咎(注)たるべき者なり
  - 一 森林木なへ(苗)切木は、五百文ずつ、咎たるべき者なり
  - 一 木柴ならびにくわの木は、百文ずつの、咎たるべき者なり
- 衆議に依て定むる所、<sup>くだん</sup>件の如し

文安五年  
(1448)

(注) 咎：この場合は罰金のこと

下人・名子(隷属農民)

資料の分析 この資料では、「寄合」での話し合いにより **ウ** が決められていた。

仮説 この時代に惣村で、**ウ** が決められたのは、**エ** という背景があったからだと考えられる。



問 3 C班の発表資料中，空欄   に入る語句の組合せとして適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 村における年貢の納入に関すること
- Y 村における裁判権の行使に関すること

- a 領主が制定した掟による裁判により，村人同士の連帯意識が薄れた
- b 自分たちの村の秩序を，自分たちの力で共同して守ろうとした

- ① X — a      ② X — b      ③ Y — a      ④ Y — b

## D班 発表資料

### 戦国時代の堺

#### 調べてわかったこと

堺は、有力な町衆である会合衆によって治められている。それは、ベニス市における執政官のような存在だったらしい。

#### さらに調べたこと

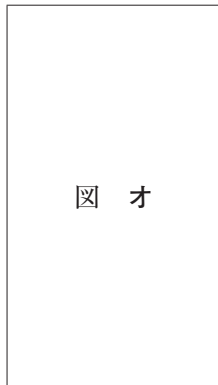
ベニス市の執政官について、先生から次の資料(堺より古い時代らしい)を紹介された。

#### 資料 『フリードリヒ1世事績録』におけるベニス市などの記述

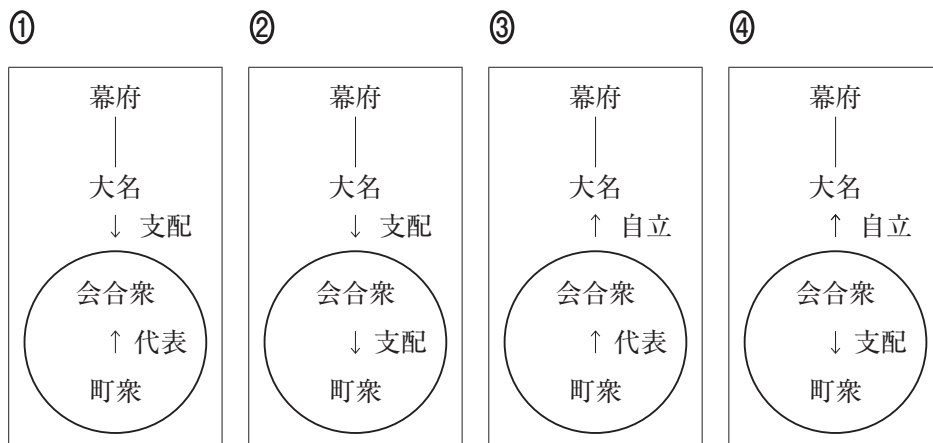
(北イタリアの諸都市では)命令者よりも執政官の意見によって治められている。市民の間には3つの身分すなわち領主、<sup>ぼいしん</sup>陪臣(注)、平民があることが知られているが、横暴を抑えるため、執政官は一身分からではなく各身分から選ばれる。また支配欲が出ないよう、執政官はほぼ毎年交代する。

(注) 陪臣：領主の家臣

**仮説** 堺の町の運営は、次の図のように表すことができる。



問 4 D班の発表資料中，図オに入るものとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（図中の○印は堺のこと。） 4



問 5 中世までの日本における「会議」や「意思決定」について，A～D班の学習を基に，生徒たちは現在と比較して，次のX・Yのように考えをまとめた。X・Yの正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

5

X 現在と同じように，ルールにもとづいて議事が進められた。

Y 現在とは違って，社会の階層によって参加が制限された。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

**第2問** 「国の始まり」をテーマとする学習で、鈴木さんは邪馬台国について、山本さんは「日本」という国号について調べた。それぞれの発表資料を読み、下の問い（問1～4）に答えよ。（資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

**A** 鈴木さんの発表資料

3世紀に存在したとされる邪馬台国の位置は、古代史の大きな謎とされている。「魏志」倭人伝には邪馬台国があった場所について書かれているが、その解釈をめぐる、九州説と近畿説が対立し、論争が長い間続けられた。

**問1** 鈴木さんは、邪馬台国からヤマト(大和)政権にいたる3世紀から5世紀の歴史の展開を、近畿説の立場から次のようにまとめた。空欄 **ア** に入る記述として適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **6**

3世紀には、邪馬台国を中心に、30カ国ほどが連合して、他の政治連合と対立していた。

4世紀には、 **ア**

5世紀には、近畿地方の王権が関東から九州まで勢力をのばし、中国の王朝に朝鮮半島の軍事的支配権の承認を要求した。

- ① 近畿地方の勢力は力を弱めたので、五経博士を招いて統治方法を学んだ。
- ② 近畿地方の勢力は力を弱めたので、関東の勢力が政治的な中心となった。
- ③ 近畿地方の勢力が力を強め、仏教の信仰を中心とする政治的統合を進めた。
- ④ 近畿地方の勢力が力を強め、墳墓や祭祀の形式をともにする政治的統合を進めた。

問 2 鈴木さんはさらに、女王が魏へ使者を派遣した時に、人々が考えていそうなことを推測してみた。次の資料の下線部 X、Y の人物が考えたと思われることを、下の a～d から選ぶ場合、最も適当な組合せを、①～④のうちから一つ選べ。

7

資料 「魏志」倭人伝

女王国(注1)より以北には、とくに一大率<sup>いちだいそつ</sup>を置き、諸国を檢察せしむ。……  
 X 下戸<sup>げこ</sup>、大人<sup>たいじん</sup>と道路に相逢へば、逡巡して草に入り、辞を伝へ事を説くには、  
 あるいは蹲<sup>うずくま</sup>りあるいは跪<sup>ひざまず</sup>き、両手は地に抛り、これが恭敬をなす。……その国、もとまた男子を以て王となす。住<sup>とど</sup>まること七、八十年、倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり。……倭の女王(注2)、Y 大夫難升米<sup>たいふ</sup>(注3)らを遣し、郡<sup>ぐん</sup>(注4)に詣<sup>いた</sup>り、天子に詣りて朝献せんことを求む。

(注1) 女王国：邪馬台国 (注2) 倭の女王：卑弥呼のこと。

(注3) 難升米：人名 (注4) 郡：ここでは、朝鮮半島に置かれた帯方郡のこと。

- a 「毎日の暮らしのことしか分からない自分には関わりがないことだ」
- b 「敵国である邪馬台国が魏と結ぶことは大変困ったことだ」
- c 「無事に中国にわたり、魏の皇帝と上手に交渉をまとめた」
- d 「内政にかかわる監督官の自分には、職務だけで頭がいっぱいだ」

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ① X — a      Y — c | ② X — a      Y — d |
| ③ X — b      Y — c | ④ X — b      Y — d |

## B 山本さんの発表資料

「日本」という国号がいつ成立したのかはよく分かっていないが、8世紀初めの遣唐使は「日本国使」を名乗っている。東アジアの国際社会で、<sup>a</sup>「倭」に代わって「日本」が認められたのは、この頃のような。貧窮問答歌で知られる山上憶良もこの遣唐使の一員として唐に渡ったときに、「日本」という文字を詠みこんだ歌を作っている。11世紀初めに<sup>b</sup>藤原道長が埋納した経筒には、「大日本国左大臣正二位藤原朝臣道長」と記されていて、道長が「日本」を意識していたことが分かる。

問 3 下線部<sup>a</sup>に関連して、先生が次のような図と年表を示してくれた。山本さんは、倭国使と百濟使で描かれ方が違うことに気付き、その理由を考えた。理由 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

8

図

倭国使

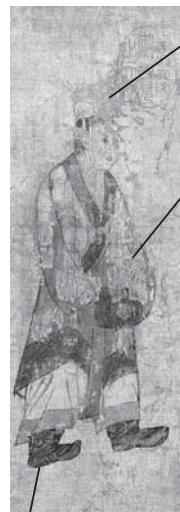


布を巻いている

布を身にまとい  
ている

はだしである

百濟使



冠をかぶっている

中国風の服を  
着ている

くつを履いている

「梁職貢図」梁の武帝(在位 502～549)時代の梁への外交使節の姿を描いている。

## 年表

### 6世紀前半の梁(中国)と倭・百済との外交関係

西暦(年)	事 項
502	梁が、百済王・倭王に將軍号を与える
512	百済が梁に朝貢する
521	百済が梁に朝貢する/梁が百済王に將軍号を与える
534	百済が梁に朝貢する
541	百済が梁に朝貢し、博士や工匠・画師を求める
549	百済が梁に朝貢する

## 理由

X 百済は、中国から積極的に文化を受け入れているようなので、百済使は中国風の身なりに描かれているのだろう。

Y 当時、倭は梁にひんぱんに朝貢していないようなので、倭国使は古い時代の風俗で描かれているのだろう。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 次の写真は、下線部⑥の経筒である。この経筒に示される仏教信仰を表す文化財として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

大日本国左大臣正二位藤原朝臣道長



経筒に記された埋経の趣旨

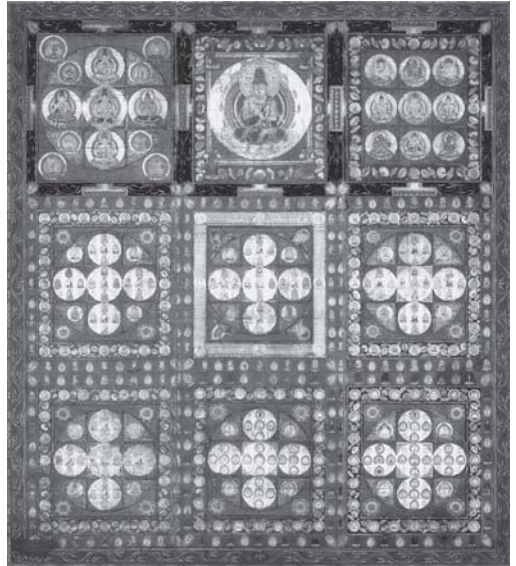
「この経筒に経典を納めて埋める。それは極楽浄土に往生することを願うからである。」



①



②



③



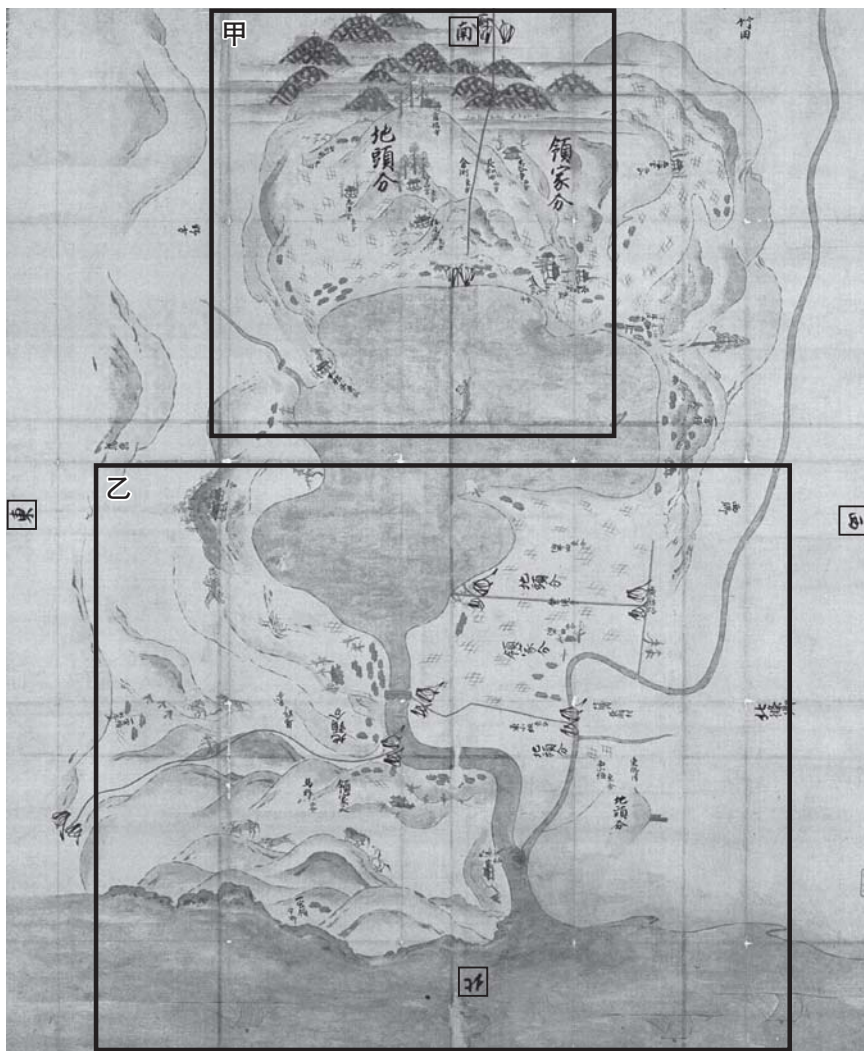
④



**第3問** 日本史の授業で博物館に行き、「展示資料の一つ選んで、どんなことが分かるか調べてみよう」という課題が出された。次のA・Bについて、下の問い(問1～4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

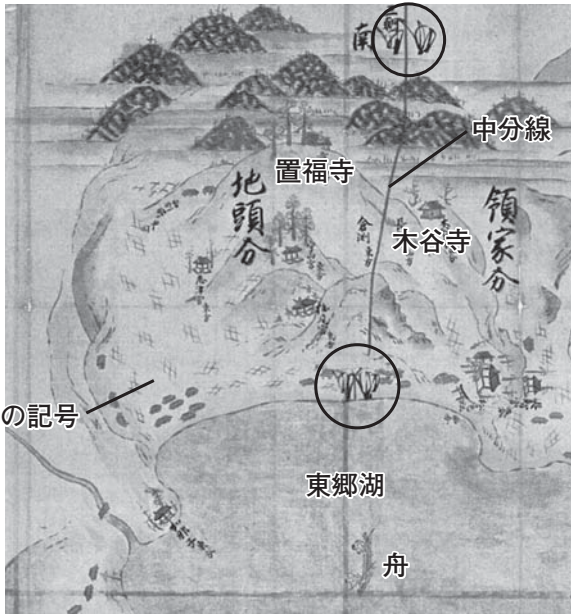
A A班は、展示資料から「伯耆国東郷莊下地中分絵図」を選んで、表面の絵図と裏面の説明(裏書)を調べてみることにした。

資料I 絵図



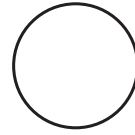
(注) 甲・乙の部分は次ページに拡大してある。

甲



田畠(畑)の記号

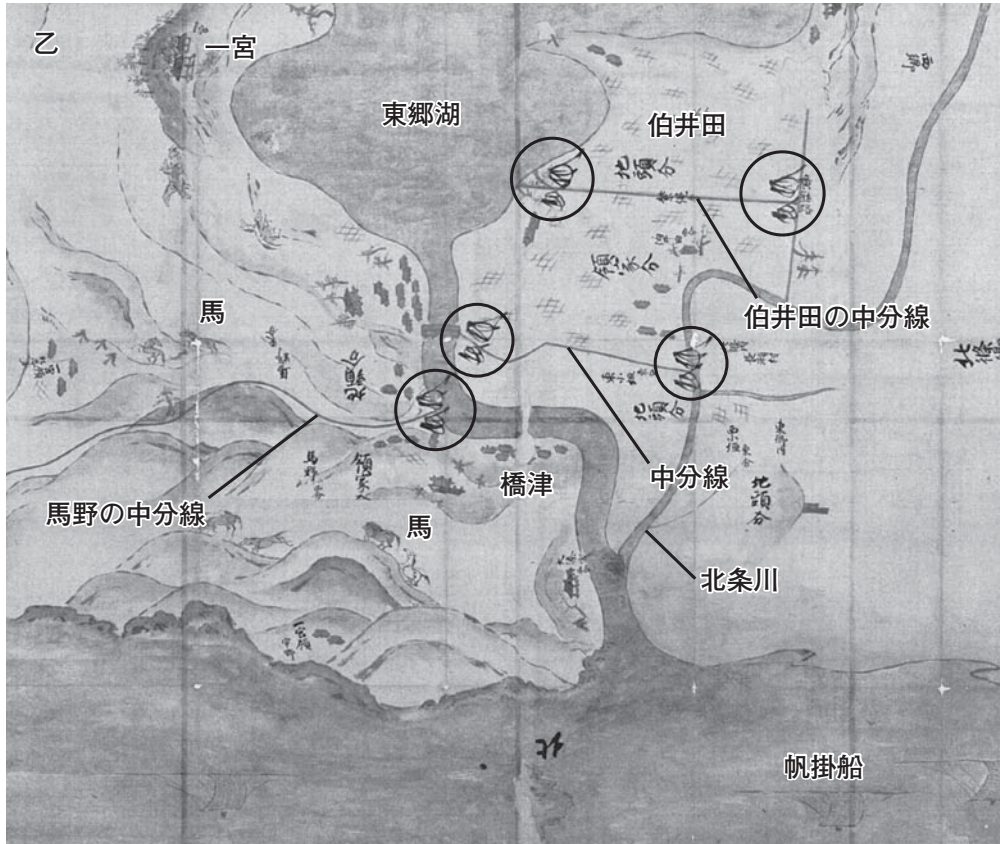
甲・乙の



には  
執権・連署の署名  
が見られる。



乙



## 資料Ⅱ 絵図の裏書

領家と地頭が和解し、道路がある場所はそこを境界とし、ないところは朱線を引き、東側(地頭分)と西側(領家分)に土地を折半した。ただし、このやり方ですると、伯井田は荘園の西側なので領家分となるが、田畠は田畠で分割するという取り決めから、伯井田をさらに領家方と地頭方に分割した。このような理由で、馬野(牧場)・橋津(港)・伯井田などの地区は、領家分・地頭分双方の土地が混在することとなった。

問 1 次のA～Dは、土地制度の変遷を時代順に示している。この絵図に描かれたようなことが行われた時期として正しいものを、下の①～⑤のうちから一つ選べ。

10

- A 荘園の増加が進み、一国内は荘園と国衙領で構成されるようになった。
- B 東国に誕生した武家政権は、地頭設置を朝廷に認めさせ、地頭は荘官などの権限をひきついだ。
- C 没収した朝廷方所領に新たに地頭がおかれ、地頭の設置範囲が西日本にも拡大した。
- D 戦国大名の領国支配が強化されるとともに、荘園はほぼ解体した。

- ① Aより前
- ② AとBの間
- ③ BとCの間
- ④ CとDの間
- ⑤ Dより後

問 2 絵図中に何本もの中分線が見られる理由として適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 道路がある所だけで境界を定めたから。
- ② 田畠(畑)や牧場など土地の用途ごとに分割したから。
- ③ 荘園の中央に湖が存在するから。
- ④ 地頭が有利になるように分割したから。

問 3 A班は、博物館で学芸員から、「絵図という一つの資料からのみでは、分かることに限界がある」ということを学んだ。この絵図から読み取ることのできないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

12
----

- ① 東郷荘には、どのような宗教施設があったか。
- ② 東郷荘の人々が、どのような仕事をしていたか。
- ③ 東郷荘では、年貢や公事はどのような方法で徴収されたか。
- ④ 東郷荘の下地中分は、政権により承認されていたか。

B B班は、寺院に関する展示資料から、仏堂(仏像を安置する建物)の構造や仏像の配置が、仏教の社会的役割によって変化してきたことに気づき、カードと模式図を作成した。

問 4 各時代における仏教の社会的役割に関する3枚のカード(時代順になっているとは限らない)を参考にして、図ア～ウについて、古いものから順に配列した場合、正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

カード

国家の安定を目的とした仏教であったので、僧侶だけが仏堂の中で読経した。

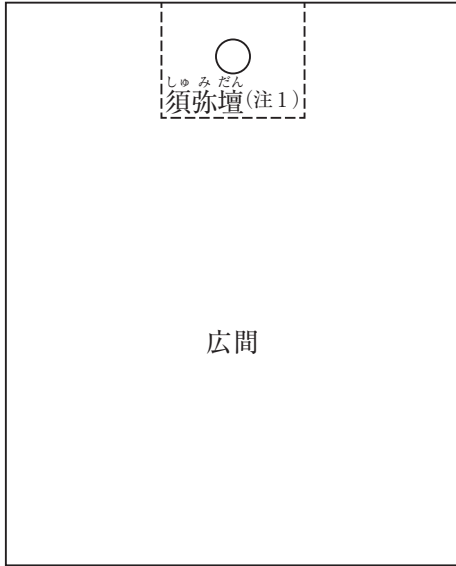
カード

民衆を救済する仏教が成立し、信者が一斉に集まって祈る場としての仏堂が作られた。

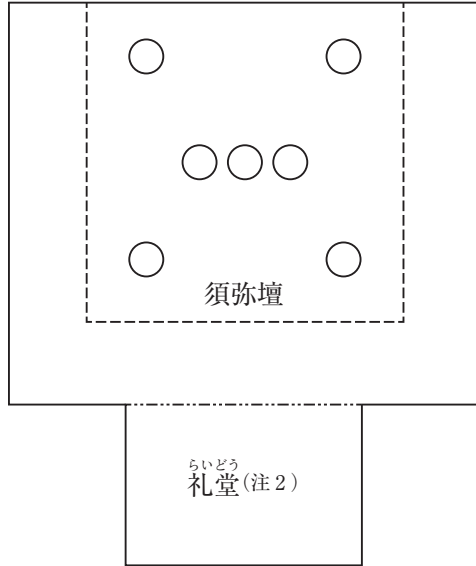
カード

仏の加護を願って、一定期間仏堂にこもる習慣が貴族の間に広がっていった。

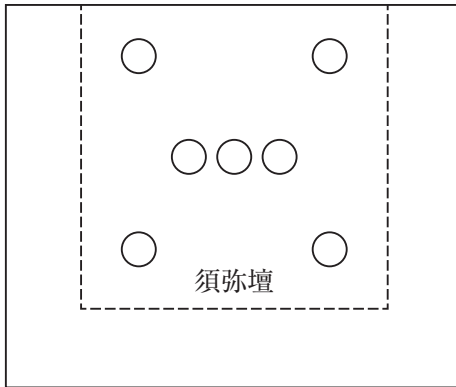
ア



イ



ウ



図は仏堂の内部を上から見た簡単な模式図である。□は仏堂を、[ ]は須弥壇を表している。○は仏像の位置を示す。  
(なお、縮尺は同じではない)

(注1) 須弥壇とは、仏像が置かれている一段高い場所。

(注2) 礼堂とは、礼拝するために上げられた場所。

① アーイーウ

② アーウーイ

③ イーアーウ

④ イーウーア

⑤ ウーアーイ

⑥ ウーイーア

**第4問** 佐藤さんと田中さんは、それぞれ「近世の大名」と「近世の流通」をテーマに学習を進めた。学習に関する文章A・Bを読み、下の問い(問1～4)に答えよ。

A 佐藤さんは、近世の大名とそれ以前の大名とを比較するために、次の表を作成した。

16世紀の大名	18世紀の大名
・守護代、国人から身をおこした者が少なくなかった。	
・大名間で領地をめぐる戦いをくり広げた。	① 武力で領地を奪ったり、取り戻したりすることができなかった。
・政略結婚をさかんに行った。	・武家諸法度により大名間の自由な婚姻が規制された。
	・ <sup>a</sup> 参勤交代を行った。
	・ <sup>b</sup> 藩政改革を実施した。
・キリスト教の洗礼を受け、外国船を積極的に自領の港に招き入れる大名がいた。	② 自由に外国と交易することを許されなかった。
・大名の織田氏が最後の足利将軍を立てて入京し、やがて将軍を京都から追放した。	③ 将軍の全国統一的な軍事指揮権の下に置かれた。
④ 領国支配のために独自の法を制定する大名もいた。	・藩ごとに藩法を制定した。
・戦争を行うために各地に城を築いた。	⑤ 幕府の指示がなくても、常に城郭を整備・修復するよう求められた。

問1 佐藤さんが作成した表を見て、内容が誤っているものを、表中の①～⑤の文章のうちから一つ選べ。 14



問 2 佐藤さんは、下線部④の制度のもと、大名が、次第に「江戸育ちにて江戸を故郷と思う」(注1)ようになり、「国元にいるよりも、江戸に行くことを楽しみにする」(注2)、「江戸好き」(注3)になっていったという資料があることを知った。この資料を基にして、佐藤さんは次の4つの仮説を立てた。仮説として成り立たないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

(注1) 『政談』より (注2) 『徳川実紀』より (注3) 『草茅危言』より

- ① 江戸文化に親しんだ生活は、藩邸の出費を増加させ、財政が悪化したのではないか。
- ② 幼少時より江戸住まいが長いので、大名や嫡子の交流が盛んになったのではないか。
- ③ 享保の改革の政策である上げ米の制は、大名には喜んで迎えられたのではないか。
- ④ 廃藩置県が実施される際、知藩事であった旧大名は東京集住に大きく抵抗しなかったのではないか。

問 3 佐藤さんは、下線部⑥の理解を深めるため、近世の各時期に実施された藩政改革について、改革が必要になった状況と改革の施策とを矢印で結んだカードを作成した。両者の関係が**適当でないもの**を、次の①～④のカードのうちから一つ選べ。

16

①

17世紀  
戦乱は終わったが、寛永の飢饉が発生した。  
↓  
治水や新田開発を進め、財政の安定を図った。

②

18世紀後半  
年貢収入の減少等により財政が危機に陥った。  
↓  
領内の特産物を増産し、自由に販売させた。

③

19世紀前半(1)  
国内外の危機的状況に対応を迫られた。  
↓  
有能な中・下級武士を登用して改革を推進した。

④

19世紀前半(2)  
藩権力の強化には財力と軍事力が必要だった。  
↓  
専売制を強化したり、洋式技術を導入したりした。

B 田中さんは、西日本ではうどんなどの出汁に昆布が多く使われていることをテレビ番組で知った。番組では、昆布がとれない地域の消費量が多いことが紹介されていた。田中さんは、昆布について調べてみると次のような情報があり、その歴史的背景が近世にあると気付いた。

- 昆布は、主に北海道で採取される海産物である。
- 年間の昆布購入金額で上位に入る都市として、富山市・鹿児島市・神戸市・福井市・北九州市・大阪市のほか、那覇市がある。(総務庁家計調査より)
- 中国では、高級食材や薬として昆布が消費された。

問 4 田中さんは、近世の流通に関して次の a～d の事項をまとめた。那覇市の昆布消費量が多いことの歴史的背景となる事項の組合せとして、最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

- a 近世には、北前船など日本海側の海上交通が整備され、蝦夷地と大坂を結ぶ流通が盛んになった。
- b 近世には、諸藩で専売制の導入が進み、参勤交代の時に将軍への献上品とされた。
- c 近世には、島津氏が琉球王国を支配し、中国への使節派遣と交易を継続させた。
- d 近世には、出島を通じてオランダとつながる海外交通路が維持された。

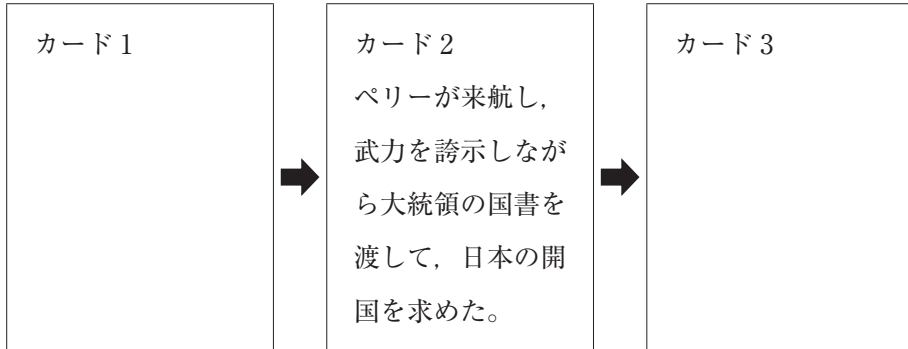
- ① a－c      ② a－d      ③ b－c      ④ b－d

**第5問** 高校生の明子さん・太郎さん・武史さんは、江戸時代末期から明治時代にかけての勉強をしている。その学習で使ったA・Bの資料と会話文を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。

A 幕末期の年表

西暦(年)	事 項
1853	㉠ <u>ペリー来航</u>
1854	日米和親条約調印
1858	㉢ <u>日米修好通商条約調印</u>
1860	桜田門外の変 (ア)
1863	八月十八日の政変
1864	禁門の変 四国連合艦隊, 下関を砲撃 第一次長州征討(長州戦争)
1866	薩長同盟(薩長連合) 第二次長州征討(長州戦争) (イ)
1867	大政奉還 王政復古の号令

問 1 下線部②に関連して、明子さんは、このできごとの前後関係を説明するために 3 枚のカードを作成した。次の a～d の文のうち、カード 1 とカード 3 に入る文の組合せとして適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18



- a アメリカはカリフォルニアまで領土を拡張、太平洋を横断する貿易船や捕鯨船の安全に関心を持った。
- b アメリカでは国内を二分した戦争が終わって統一が回復され、海外通商に関心が生じた。
- c 瓦版や錦絵が多数出回り、民衆の間でもアメリカなど欧米への関心が高まった。
- d 新たに開港場が設けられ、アメリカは日本にとって最大の貿易相手国となった。

- ① カード 1 — a      カード 3 — c
- ② カード 1 — a      カード 3 — d
- ③ カード 1 — b      カード 3 — c
- ④ カード 1 — b      カード 3 — d

問 2 下線部⑥に関連して、太郎さんは、条約交渉における幕府の対応について調べた結果、X・Yの二つの異なる評価があることが分かった。X・Yの評価をそれぞれ根拠づける情報をXはa・b、Yはc・dから選ぶ場合、評価と根拠の組合せとして適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

### 評価

X 幕府は西洋諸国との外交経験が不足しており、外国の威圧に屈して、外国の利益を優先した条約を結んだ。

Y 幕府は当時の日本の実情をもとに外交交渉を行い、合理的に判断し、主体的に条約を結んだ。

### 根拠

a のちに条約を改正することを可能とする条文が盛り込まれていた。

b 日本に税率の決定権がなく、両国が協議して決める協定関税制度を認めた。

c 外国人の居住と商業活動の範囲を制限する居留地を設けた。

d 日米和親条約に引き続き、日本は片務的最恵国待遇を認めた。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

問 3 明子さんと太郎さんは、なぜ江戸幕府が滅亡したのかを考えた。その結果、滅亡までの十数年間に、幕府が統治能力を失う重大なできごとがあり、それが幕府滅亡への画期(ターニングポイント)になったとの結論にいたった。明子さんは、年表中の(ア)のできごとを画期ととらえた。太郎さんは、年表中の(イ)のできごとを画期ととらえた。あなたは、どちらの考えを支持するか。支持するできごとと理由を正しく組み合わせよ。できごとは次の①・②のうちから、理由は下の①～④のうちから一つずつ選べ。

できごと

20

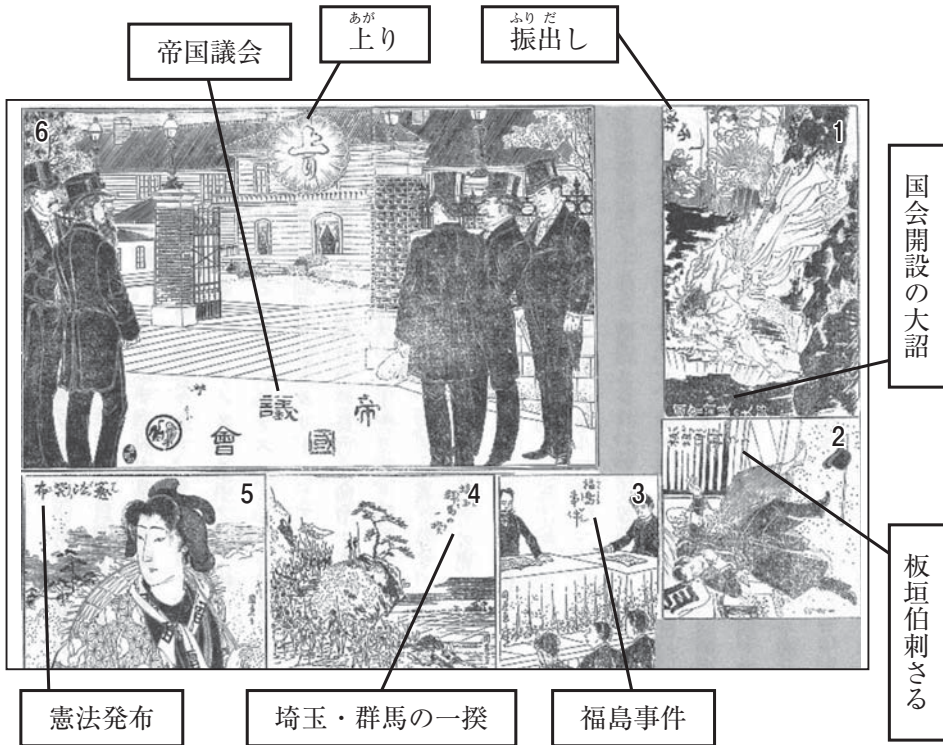
- ① 年表中の(ア)のできごと                      ② 年表中の(イ)のできごと

理由

21

- ① この事件の結果、流通機構が混乱し、幕府の市場統制力が弱まったから。  
② この事件の結果、圧倒的な軍事力を背景とした幕府支配が困難となったから。  
③ この事件の結果、幕府は朝廷への報告を行い、諸大名にも広く意見を述べさせたため、外交を専断できなくなったから。  
④ この事件の結果、一部の幕閣による専制政治を進めてきた幕府が、強権で反対派を押さえられなくなったから。

B 明治時代に作られたすごろく



(歴史学研究会編『日本史史料4 近代』より)

[班学習での会話]

太郎：これ、昔のすごろくだって。面白そうだ。

明子：振り出しは、「国会開設の大詔」から始まっている。

武史：「埼玉・群馬の一揆」は、自由民権運動が激化した様子を描いている。そして「憲法発布」にいたる。

太郎：上がりは「帝国議会」で、各コマはそれぞれ年代順に描かれている。だからこのすごろくは **ウ** が主題になっているのだろうね。

武史：ところで、衆議院の議員はどう選ばれていたのだろうか。初期の議会では、わずかな人しか選挙権を持っていなかったらしい。でも ◎次第に選挙権を有する人たちが多くなっていった だね。どのぐらいの人が選挙権を持っていたのだろうか。

太郎：そういえば、最近では選挙年齢が18歳に引き下げられたよ。



問 4 会話文中の空欄 **ウ** に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

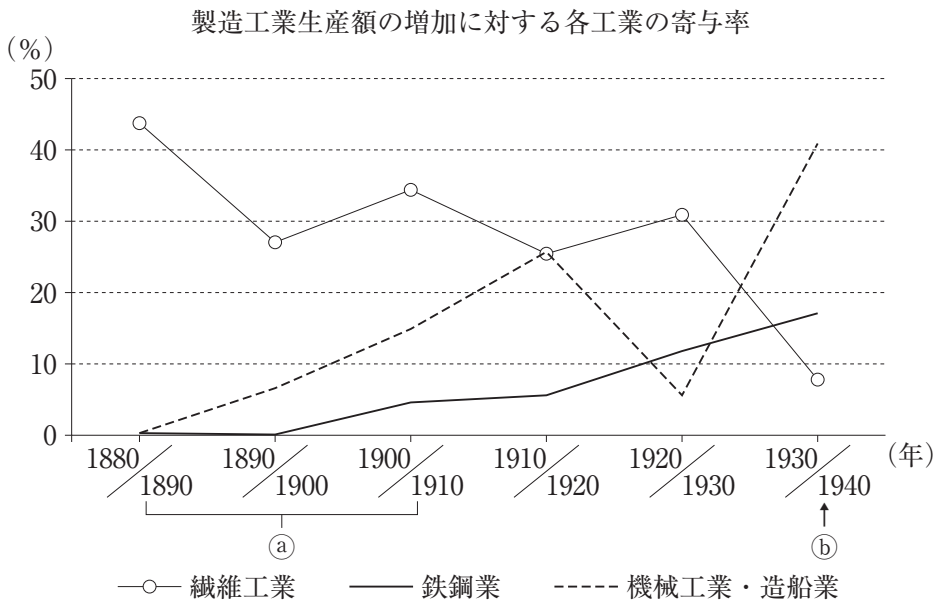
- ① 資本主義が確立する過程
- ② 帝国主義が確立する過程
- ③ 立憲政治が成立する過程
- ④ 政党政治が成立する過程

問 5 下線部㉔に関連して、3人がこのことを証明するために今後調べるべきことからして**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① 選挙後の政党の勢力分布が分かるので、第1回帝国議会の議場と議員の様子が描かれている絵画資料を調べる。
- ② 議論の内容から社会的な背景が分かるので、選挙法の改正を審議している議会の議事録を調べる。
- ③ 納税資格と選挙権を持つ人の増減の関係が分かるので、選挙資格を持つ納税者の推移を調べる。
- ④ どのような人々に投票を呼びかけているかが分かるので、衆議院選挙で使われたポスターを調べる。

**第6問** 明治時代から第二次世界大戦後にかけての日本の経済・社会に関するA～Cの文章や資料を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 次のグラフは、1880年から1940年にいたる全製造工業生産額の10年ごとの増加分に3つの分野の工業生産額の増加分が占めていた割合(寄与率)をパーセントで示したものである。寄与率の高い工業は、当該期の成長をけん引した部門とみなすことができる。



(篠原三代平『長期経済統計 10 鉱工業』より作成)

(注) 1934～36年価格による。

問1 このグラフの概要を説明した次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

X 繊維工業は、1920年代まで日本の製造工業生産額の成長をけん引していた。

Y 機械工業・造船業は、軍備が拡大する時期に成長する傾向がみられた。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① X 正    Y 正 | ② X 正    Y 誤 |
| ③ X 誤    Y 正 | ④ X 誤    Y 誤 |

問 2 ㉔の期間におけるグラフの変化の背景にある国内産業と貿易との関係を説明した文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 紡績業で機械制大量生産が進んだので、綿糸輸出が増加した。
- ② 造船奨励法の制定により、鉄鋼船の輸入に歯止めがかかった。
- ③ 製糸業が発展したので、生糸輸出が外貨獲得に貢献した。
- ④ 官営八幡製鉄所の操業開始により、鉄鋼が中国へ輸出された。

問 3 次のⅠ～Ⅲのうち、㉔の時期の経済政策を示した資料としてあてはまるものはどれか。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

- Ⅰ 日本帝国政府は……主要消費者貨物の生産に必要となる商品を、ただちに最大限度まで生産するよう刺激し、奨励しなければならない。……住民の食、衣および住に必要となる商品の生産に優先順位を与えなければならない。
- Ⅱ わが国製鉄事業の実情から考えられることは、その事業を振興して外国品の輸入を防ぎ、なお進んで輸出方面に進展するためには、八幡製鉄所および民間製鉄所を打って一丸とする大合同会社を設立し、その完全な統制の下に徹底的合理化を図る。
- Ⅲ 現在の時局を考慮して綿花の輸入を制限するとともに、これを原材料とする綿製品の輸出を促進し……内地用綿製品の製造に使用されている綿糸の消費はできるかぎりこれを節約することとし、差し当りこれを従来の七・八割程度にとどめ置く必要がある。

(通商産業省編『商工政策史』)

- ① Ⅰ 正 Ⅱ 正 Ⅲ 誤      ② Ⅰ 正 Ⅱ 誤 Ⅲ 誤
- ③ Ⅰ 誤 Ⅱ 正 Ⅲ 正      ④ Ⅰ 誤 Ⅱ 誤 Ⅲ 正

B 日中戦争からアジア太平洋戦争(太平洋戦争)の時期にかけては、多くの③戦争を題材とした絵画が描かれた。その多くは④敗戦直後にGHQが接収し、アメリカへと移送されたが、1970年に無期限貸与という形で日本へ返還された。

問 4 下線部③に関連して、次の図と資料に関する説明として適当なものを、下の①～⑥のうちから二つ選べ。 27

図



資料

1937年～41年の日中戦争時の戦争画には特徴があります。まず、入念な描き込みで戦争を演出しないこと。次に、後ろ姿の兵隊が奮闘するシチュエーションで見る人の感情移入を誘うものが多いこと。

41年の真珠湾攻撃を経て戦局が急展開すると……日本軍は善玉らしく、敵兵は悪玉らしく描かれ、「正義の味方の勝利」がてらいなく表現されるようになります。

ところが、42年のミッドウェー海戦における日本軍敗北を機に戦局は悪化し、従軍画家は激減します。作戦記録画はその頃から、写真などの資料も少ない中で、想像力をもって描かれることになりました。

画家としては、発注元の軍を意識することはあっても、基本的には展覧会を見る国民に向けて描く気持ちが強かったと思います。国民のほうもまた、みずから戦意高揚されることを望んで戦争画を見に行っていたふしがあります。

(河田明久「『戦争画』の基礎知識」)

- ① 図は、日中戦争勃発後の1937年から41年の間に描かれた絵画である。
- ② 図は、1941年の日米開戦直後に描かれた絵画である。
- ③ 図は、1942年のミッドウェー海戦敗北による戦局悪化後に描かれた絵画である。
- ④ 図は、絶望的な死闘が行われ、まもなく戦争が終わることを国民に知らせるものとして美術展に出品された絵画である。
- ⑤ 図は、日本兵の死という主題で、総力戦への覚悟を国民に促すものとして美術展に出品された絵画である。
- ⑥ 図は、戦時体制下で弾圧された社会主義運動を暗示するものとして美術展に出品された絵画である。

問 5 下線部④に関連して、敗戦直後に日本人が置かれた状況に関して述べた次の文X・Yと、該当する地域a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

X ソ連軍侵攻の影響で、日本国内への引揚げに際して残留孤児となった人が多く生まれた。

Y 日本本土から切り離され、長い間アメリカの施政権下に置かれることとなった。

a 旧満州国                      b 台湾                      c 北海道                      d 沖縄

- ① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d
- ③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

C 経済企画庁の『経済白書』は、1955年の日本経済について「もはや戦後ではない」と記した。このことは、戦後の経済復興が一段落したことを示すとともに、  
㉔ 当時の政治・社会・外交においても一つの画期をなすものであった。そして、この年から **ア** が発生し、経済成長の時代が到来するのである。

ところで、鉱工業生産指数、実質国民総生産、実質個人消費などの指標は1950年代前半に戦前水準(1934～36年平均)を超えていたが、貿易は戦前最大の輸出先であった **イ** との貿易を失った影響などから立ち遅れ、1950年代後半に入ってようやく戦前水準を超えた。日本は1955年にGATT(関税及び貿易に関する一般協定)に加盟するが、  
㉕ 自由貿易体制の構築にはその後も長い年月を要した。

問 6 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- ① **ア** アメリカ軍による特殊需要      **イ** イギリス
- ② **ア** アメリカ軍による特殊需要      **イ** 中国
- ③ **ア** 大型設備投資による景気拡大      **イ** イギリス
- ④ **ア** 大型設備投資による景気拡大      **イ** 中国

問 7 下線部㉔に関連して、この時期のできごとを説明した文として **適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

- ① アメリカの水爆実験で日本の漁船が被爆した事件をきっかけに反核運動が高まり、原水爆禁止を求める最初の世界大会が開かれた。
- ② 労働運動は、吉田内閣打倒などの政治主義的なものから、「春闘」方式で賃金上昇を求める方向へと変化した。
- ③ 革新勢力が党勢を拡大する動きを受け、財界の強い要望を背景に初の単一保守政党が誕生した。
- ④ 韓国との交渉を進め、朝鮮半島唯一の合法政府として国交を樹立する条約に調印した。

問 8 下線部①に関連して、次の表の期間に関して述べた文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 31

日本の食料自給率

(単位：%)

品目	1955 年度	1960 年度	1965 年度	1970 年度	1975 年度	1980 年度	1985 年度
米	110	102	95	106	110	100	107
小麦	41	39	28	9	4	10	14
大豆	41	28	11	4	4	4	5
野菜	100	100	100	99	99	97	95
果実	104	100	90	84	84	81	77
牛乳及び乳製品	90	89	86	89	81	82	85
肉類	100	93	93	89	76	80	81
砂糖類	—	18	31	22	15	27	33
魚介類	107	108	100	102	99	97	93

(三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧』補訂版より作成)

- a 外国産果物の輸入自由化が広がり、身近な食品となっていった。
- b 輸送手段の発展で、水産物は輸入に大きく依存するようになった。
- c 食生活の変化により、洋食関連品目の輸入が増えた。
- d 専業農家が大きく減少し、輸入米が増加した。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d